

（件名）中国で人気の娯楽について

中国での一般的な余暇時間は、スポーツや映画・劇を楽しむなど、日本と同様に思い思いの時間を過ごしています。最近では若い女性を中心に、歴史や文化を楽しみながら徒歩で街を歩くシティーウォークが人気となり、SNS 上でも関連する投稿が溢れています。多くの娯楽がある中、今年8月に販売され、大ヒットしたオンラインゲーム「黒神話：悟空」をご紹介します。



公式サイトで紹介されている画像

●「黒神話：悟空」はどんなゲームか

このゲームは、中国神話「西遊記」を背景にしたアクション RPG（ロールプレイングゲーム）で、プレイヤーは「天命人」と呼ばれるキャラクターとなり、古い伝説に隠された真相を究明するため、険しく不思議な旅に出るというものです。スマホで気軽に遊ぶネットゲームではなく、ゲーム機が必要なため、このゲームを遊ぶためにゲーム機「PS5」が売り切れとなるお店も出るほどの人気となりました。ゲーム発売初日の20時時点で、450万ダウンロードを超え、売上も300億円に達したそうです。さらに、中国だけでなく、アメリカやシンガポール、タイ、カナダ…など12カ国において、週間売上ランキングトップを記録しました。

●なぜ、中国人を魅了しているのか

この人気の理由には、まず、大量のお金・人的リソース・時間が投入された超大作であり、ゲーム自体の品質の良さが挙げられます。ゲーム業界では、「中国ゲーム産業において画期的な意義を持ち、真の意味でグローバル市場に導入された高い競争力を持つ中国国産ゲームだ。」と高い評価を得ています。

さらに、「西遊記」という世界に通用する物語・キャラクターを登場させたことで、西遊記の文化的価値もプレイヤーを引きつけました。日本でも子供の頃から西遊記の絵本やアニメ、映画などに触れる機会が多いですが、これは日本に限らず、世界各国でも同様のようです。

●さらに広がる「黒神話：悟空」の世界

このゲームが発売されたあと、中国各地でゲームに登場する地域が大人気になりました。映画のロケ地巡りのようにゲームのロケ地巡りが流行し、各地の政府観光局も猛PRを行い、中国伝統文化ブームの再燃に繋がりました。

また、コーヒーチェーン店など小売店とのコラボに加え、郵便局が限定記念切手を発売（しかもすぐに完売）するなど、関連グッズも人気となり、その勢いはさらに拡大していきそうです。

（件名）北海道関連企業の取組**●ニトリが香港2店舗目をオープン**

（株）ニトリホールディングスは10月25日に、香港2店舗目となる「NITORI 香港樂富廣場店」をオープンしました。新店舗では道産食品販売コーナーが期間限定で設置され、北海道の魅力を発信いただきました。

●道内企業が上海で自社商品をPR

11月上旬の上海では上海国際輸入博やFHC上海など、中国を代表する展示会が開催され、世界各国の企業が訪れました。北海道からも（株）グリーンズ北見（粉末たまねぎスープ）や（株）ニトリパブリック（酒類）、（株）not（漢方ペットフード）などが出展し、多くのバイヤーから注目を集めていました。



漢方ペットフード紹介の様子